

第2学年国語科学習指導案

1 単元名 ようすを考えて読もう 「お手紙」

2 指導観

① 児童の実態

本学級の児童は、これまでに物語文「ふきのとう」や「スイミー」などで、読みのめあてをつくり、その答えを自分で考え、学習計画をもとに読み確かめをし、まとめをするという学習の流れを経験してきた。

読み確かめの段階でのひとり読みでは、登場人物のしたことや言ったこと、場面の様子が分かる部分に線を引いたり、挿し絵や叙述をもとにしながら、登場人物がどんなことを考えているかを想像して吹き出しに書いたりすることに取り組み、少しずつ学習の仕方を身に付けてきている。また、毎時間の学習のまとめでは、本時場面のあらすじを書くだけでなく、その時間に読み確かめたことや気持ちを取り入れながらまとめを書けるようになってきている。しかし、中にはまだ、自分の考えをうまく言葉や文に表せない児童もいる。

交流活動では、全体交流の前に隣同士で活発に自分の考えを話し合ったり、全体交流においても自分の考えを大きな声で発表したりと、とても意欲的であり、自分の考えを友だちに伝えたいという気持ちをもっている児童が多い。しかし、自分の考えを発表することだけに満足し、友だちの考えを聞く際には、体を向けてしっかりと最後まで聞くことができない児童が見られ、互いに学びあうというクラスの雰囲気はまだ十分にはできていない。

② 教材の価値

本教材は、ちょっぴりわがままで、自分勝手ながまくんと、一生懸命相手に優しい言葉をかけるかえるくんの話で、2年生の心には、ぴったりとその心が感じ取れる話である。手紙を一度ももらったことのないながまくんの寂しさが少々心をいじかせてしまうところ、なんとかながまくんを喜ばせてあげようとして、内緒でお手紙を出すかえるくん。かえるくんが、なんとかながまくんの心を晴れ晴れとさせてあげたくて、内緒を打ち明けてしまうところ、頼まれた手紙を懸命に運ぶかたつむりくんなど、楽しく素直な心でお話の世界を想像し、楽しめる作品である。

簡潔でわかりやすい文章表現で、誰が何をしているのかははっきりしており、あらすじをとらえやすく、また、会話文も多いため、役割読みや動作化によって人物になりきり、楽しく読み進めることができる。

③ 指導に当たって

本教材の指導に当たっては、次のような工夫を考えている。

- i 出会う段階では、まず題名と冒頭の文からながまくんとかえるくんの関係をとらえさせる。さらに、これからの展開を予想させる中で、読みのめあてをつくる。
- ii 見通す段階では、まず全文を読み通し、大体のあらすじをとらえた上で、読みのめあてについての自分の考えをもたせる。それぞれの考えを交流、整理し、学級としての読み確かめの方向を確認する。次に、時間の経過や出来事の順序を確かめながら、場面分けを行い、場面ごとにまだはっきりしていないことや疑問に思うことを交流させ、読み確かめの計画を立てる。
- iii 読み確かめる段階では、ひとり読み→交流という二つの活動を通して、各場面のあらすじとながまくんやかえるくんの気持ちを読み確かめていく。ひとり読みの活動では、まず、音読をすることで、その場面の大まかなあらすじを確認する。さらに、学習プリントで、ながまくん、かえるくんのしたこと、言ったことに色線を引かせる。その後、ながまくんとかえるくんの気持ちを読み確かめるための視点を確認し、吹き出しに気持ちを書かせる。交流活動では、線を引いたところを話し合わせる。さらに、動作化や役割読みを取り入れながら、読み取ったことを確かめていく。また、吹き出しに書いたことを話し合わせることで、ながまくんとかえるくんの気持ちをとらえさせる。最後に、本時のあらすじと共に、本時で読み確かめたことも取り入れながら「今日のがまくんとかえるくんはね。」を書かせる。
- iv まとめ段階では、読み確かめた、ながまくんやかえるくんの気持ちをもとに、音読発表会をして、学習をまとめる。

3 目標

- ◎ だれが・どうしたに気をつけながら、音読したり、ながまくんやかえるくんの言動に線を引いたりしながら、あらすじをとらえたり、気持ちを吹き出しに書いたりすることができる。《自ら》
- ◎ 場面の様子やながまくんやかえるくんの気持ちを想像したことなど、自分の考えを言葉や文を示しながら進んで発表し、友だちの考えをしっかりと聞くことができる。《互いに》
- ◎ ながまくんとかえるくんのしたこと、言ったことや挿し絵をもとに、場面の様子を想像しながら、ながまくんの気持ちや、ながまくんとかえるくんの心のふれあいを読み取ることができる。《読み》

4 指導計画：10時間（※支援 a はひとり読みに関する支援 b は交流活動に関する支援）

配時	主な学習活動と内容 (○)	支援 (※) と評価の視点 (◆)
1	<p>題名と冒頭の文から、読みのめあてをつくる。</p> <p>1 題名「お手紙」について、話し合う。</p> <p>2 冒頭を読む。</p> <p>3 題名と冒頭をつないで、読みのめあてをつくる。 ○ 冒頭の「ふたりとも」に着目し、なぜふたりともかなしいのか考えて、読みのめあてを考えること。</p> <p>【読みのめあて】 かなしい気分でげんかんの前にこしを下ろしているがまくんとかえるくんがこれからどうなるお話だろう。</p>	<p>※ お手紙についての自分の経験を出させる。</p> <p>※ がまくん、かえるくんのしたこと、言ったことに色分けをして線を引かせる。 ◆ 登場人物の言動に線を引くことができたか。</p> <p>※ どんなことを読んでいくかを話し合いながら、クラスの読みのめあてをつくる。</p>
2	<p>全文を読んで、読みのめあてに対する自分の考えをつくる。</p> <p>1 全文を読み通す。</p> <p>2 場面分けをし、挿し絵の並べ替えをする。</p> <p>3 読みのめあてに対する自分の考えを書く。 ○ あらすじをとらえ、人物の行動や、会話に注目して読み、がまくんの気持ちの変化を読み取ること。</p> <p>【読みのめあてに対する自分の考え】 かなしそうにしているがまくんを見て、かえるくんは大急ぎで家に帰り、がまくんへ手紙を書いた。そして、お手紙をかたつむりに運んでもらうようお願いした。がまくんは、ベッドでお昼寝をし、お手紙は来ないと諦めていた。かえるくんは、ゆうびんうけを見たり、まどからのぞいたりして、お手紙が来るのを待った。でも、なかなか来ないので、かえるくんは、がまくんに自分がお手紙を書いたことを話した。二人とも、とても幸せな気持ちで、お手紙が届くのを待った。そして、かたつむりくんがお手紙をやっと、運んで来てくれて、がまくんがとても喜んだお話。</p> <p>4 一読目で生まれた、読みのめあてに対する、それぞれの考えを話し合い、整理する。</p>	<p>※ 読みのめあてに答えることをしっかり意識して聞くよう、はじめに確認する。</p> <p>※ 挿し絵の拡大したものを用意しておく。</p> <p>※ 挿し絵のふたりの表情に着目させる。 ◆ あらすじをとらえて、自分なりに考えを書くことができているか。</p> <p>※ 詳しく書けていなくても、交流を通じてみんなですぐ詳しくしていくことを伝える。 ◆ 自分の考えを進んで発表しているか。</p>
3	<p>まだはっきりしないことや、疑問をもとに、読み確かめの計画を立てる。</p> <p>1 全文を音読する。</p> <p>2 挿し絵をもとに時間の経過や順序を整理する。</p> <p>3 よく分からなかったこと、みんなで考えたいことを、学習プリントに書き込む。</p> <p>4 学習プリントに書き込んだことを、出し合う。</p> <p>5 読み確かめの計画を立てる。 ○ 疑問をもとに、それぞれの場面で読み確かめていくことを決め、読み確かめの見通しをもつこと。</p>	<p>※ 読むことに慣れていない児童に対しては、指で追いながら読んでもいいことを伝える。</p> <p>※ 挿し絵の並べ替えをさせる。</p> <p>※ ふたりの言動で分からないこと、もっと知りたいこと、はっきりしないことを書かせる。</p> <p>※ はじめに隣同士で話し合わせる。</p> <p>※ 考えを出し合い、場面ごとに疑問を整理しながら、それぞれの場面で読み確かめていくことを決める。(a-2) ◆ どんなことを読み確かめていけばよいのかをつかんでいるか。</p>

<p>4</p>	<p>大急ぎで家に帰って手紙を書き、また戻るまでのかえるくんの行動の順序を読み取り、かえるくんの、がまくんへの優しい気持ちを読み取る。</p> <p>1 前時を想起し、本時の学習のめあてを確認する。 2 本時場面の音読をする。 3 かえるくんの行動を視写し、場面の様子を話し合う。 ○ かえるくんのしたことを順番に書き、書いたことを出し合うこと。 4 お手紙を書くかえるくんの気持ちや、どんなことを書いたのかを想像し、話し合う。 ○ かえるくんの急いでいる様子をとらえること。 ○ かえるくんは、どんなことを、どんな気持ちでがまくんに手紙を書いたか、かえるくんの気持ちになりきって吹き出しに書くこと。</p>	<p>※ 掲示物をもとに前時を想起させる。(a-1) ※ 大まかなあらすじを確認させる。(a-1) ※ 学習プリントにかえるくんの行動を順番通りに視写し、とらえさせる。(a-3) ◆ かえるくんの行動の順序をとらえているか。</p> <p>※ かえるくんは、がまくんにどんなお手紙を書いたのかを想像し、かえるくんになりきって吹き出しに気持ちを書かせる。(a-4) ※ 書き込みに丸を付け、賞賛していく。(b-1) ※ 隣同士で話し合い、全体交流させる。(b-3) ◆ 吹き出しにかえるくんの急ぐ気持ちを想像して書くことができているか。 ◆ 進んで発表したり、大事なことを落とさずに友だちの発表を聞いたりしているか。</p>

<p>6 本時</p>	<p>お手紙のことを話したかえるくとそれを聞いたがまくんの様子や気持ちを読み取る。</p> <p>1 前時を想起し、本時の学習のめあてを確認する。 2 本時場面の音読をする。 3 がまくんとかえるくんのしたこと、言ったことに線を引き、話し合う。 4 「とてもいいお手紙だ。」の「いい」の中身を吹き出しに書き、話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《着目させたい言葉や文》 「きみが。」 「ぼくは、こう書いたんだ。『親愛なるがまがえるくん。ぼくは、きみがぼくの親友であることを、うれしく思っています。きみの親友、かえる。』」 「ああ。」 「とてもいいお手紙だ」</p> </div> <p>5 本時学習をまとめる。</p>	<p>※ 掲示物をもとに前時を想起させる。(a-1) ※ 大まかなあらすじをとらえさせる。(a-1) ※ がまくんとかえるくんのしたこと、言ったことに色線を引かせ、机間巡視しながら個別の支援を行う。(a-3, 4) ※ がまくんは何を「いい」と言っているのかを想像し、吹き出しに書かせる。(a-3)</p> <p>※ 本時で読み確かめたことをつけ加えながら、「今日のがまくんはね、かえるくんはね。」を書かせる。(a-4)</p>
<p>7</p>	<p>親友であることを分かり合えたがまくんとかえるくんの幸せな様子や気持ちを読み取る。</p> <p>1 前時を想起し、本時の学習問題を確認する。 2 本時場面の音読をする。 3 がまくんとかえるくん、かたつむりくんのしたことに線を引き、話し合う。 4 げんかんの前に座っている、ふたりの気持ちを吹き出しに書き、話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《着目させたい言葉や文》 ふたりとも、<u>とてもしあわせな気持ち</u>で、そこにすわっていました。</p> <p>4日たつて、かたつむりくんが、がまくんの家につきました。</p> <p>お手紙をもらって、がまくんは、<u>とてもよろこびました。</u></p> </div> <p>5 本時学習をまとめる。</p>	<p>※ 掲示物をもとに前時を想起させる。(a-1) ※ 大まかなあらすじをとらえさせる。(a-1) ※ がまくんとかえるくん、かたつむりくんのしたことに色線を引かせ、机間巡視しながら個別の支援を行う。(a-3, 4) ※ 4日間何をして過ごしたかを想像させる。(a-3) ※ がまくんとかえるくんの気持ちを吹き出しに書かせ、交流させる。(a-3, b-1) ※ はじめの挿し絵と本時の挿し絵のふたりの表情の違いに気付かせる。(a-3)</p> <p>※ 本時で読み確かめたことをつけ加えながら、「今日のがまくんはね、かえるくんはね。」を書かせる。(a-4)</p>
<p>8</p>	<p>全文を読み返し、がまくんとかえるくんに手紙を書く。</p> <p>1 全文を読み通す。 2 がまくんとかえるくんのどちらに手紙を書くかを決める。 3 手紙を書く。○ 読み確かめたことを振り返り、がまくんやかえるくんに手紙を書くことで、読みのまとめをすること。</p>	<p>※ これまでに読み確かめてきた気持ちなどを想起しながら読ませる。 ※ どんなことを書けばよいか分からない児童のために、書き方の例を用意しておく。 ◆ がまくんやかえるくんに伝えたいことを、自分の言葉で表現することができているか。</p>
<p>9</p>	<p>読み確かめたことをもとにして、音読発表会をする。</p> <p>1 役割を決めて、音読の練習をする。</p>	<p>※ グループは3人ずつにし、がまくん、かえるく</p>

10	○ 読み確かめたそれぞれの気持ちをもとに、役になりきって読む練習をすること。	ん、かたつむりくん、ナレーターを分担させる。 ※ がまくんとかえるくんのお面を用意する。
	1 音読発表をする。 2 良かったところを出し合う。 3 全員で全文を読み通す。 ○ 読み確かめてきたことを取り入れながら、気持ちを込めて読むこと。	※ 発表の前、リーダーに、グループで工夫した所を言わせる。 ※ 具体的に良かった所を言えるように、見る時の視点を与えておく。 ◆ 自分の役になりきって、気持ちを込めて、読めているか。

5 本時 公開授業Ⅱ 14:20～15:05 ひとり読みと交流活動

6 本時目標

- ① がまくん、かえるくんのしたこと、言ったことに線を引いたり、「とてもいいお手紙だ。」の「いい」の中身を想像して吹き出しに書いたりすることができる。《自ら》
- ② 言葉や文を示しながら自分の考えを進んで発表したり、友だちの発表をしっかりと聞いたりすることができる。《互いに》
- ③ お手紙のことをがまくんに話したかえるくんと、それを聞いたがまくんの様子をもとに、がまくんの気持ちを想像しながら、自分にも親友がいたことに気付くがまくんの喜びの気持ちを詳しく読み取ることができる。《読み》

7 本時指導に当たって

本時においては、次のような学習指導の工夫を考えている。

- i 掲示物で前時を想起し、その後、本時の学習のめあてを提示する。それから、全員で声を合わせて、本時場面を音読し、場面の大まかなあらすじを確認する。
- ii 場面の様子をとらえさせるために、学習プリントの叙述の右側に、線を引かせる。どちらのしたこと、言ったことかがとらえにくい児童に対しては、一緒に叙述を読むなどの個別の支援にあたる。
次に、線を引いたところを話し合い、場面のあらすじを確認する。あらすじを確認しながら、がまくんとかえるくんのしたこと、言ったことが視覚的にとらえやすいよう、上下に分けて板書する。
- iii がまくんの言った、「きみが。」をどのように読めばよいかを考え、実際に音読させる。そこから、がまくんがとても驚いている気持ちをしっかりととらえさせる。
- iv かえるくんから手紙の中身を聞いた時のがまくんの「ああ」と、前の場面に出てきた「ああ」とくらべ読みをさせる。それまでのがまくんの気持ちを想起しながら、がまくんの気持ちの変化をとらえさせる。そして、「とてもいいお手紙だ。」の「いい」は何かいいと言っているのかを、吹き出しに書かせて話し合わせる。
- v 学習のめあてに立ち返り、読み確かめたことをまとめ「今日のがまくん、かえるくんはね。」を書く。その際、本時で読み確かめたあらすじ、がまくん、かえるくんの気持ちなどを入れて書けるように指導する。自分の言葉で文にまとめるのが苦手な児童に対しては、書き方の見本を用意するなどの個別の支援にあたる。

8 展開 (※支援 aはひとり読みに関する支援 bは交流活動に関する支援)

配時	主な学習活動と内容 (○)	支援 (※) と評価の視点 (◆)
3分	1 前時を想起し、本時の学習のめあてを確認する。	※ これまでに読み確かめてきたことを模造紙にまとめ、掲示しておく。(a-1)
	《学習のめあて》 お手紙のことを話したかえるくんとそれを聞いたがまくんのようなすや気持ちを読んで、お話をくわしくしよう。	
3分	2 本時場面の音読をする。	※ あらすじをとらえるためにしっかりと音読させる。(a-1)

15分	<p>3 がまくんとかえるくんの様子について話し合う。</p> <p>(1) がまくんのしたこと言ったことには赤, かえるくんのしたこと言ったことには緑で線を引く。</p> <p>○ 場面のあらすじや, 様子を読み取ること。</p> <p>(2) がまくんとかえるくんの様子を話し合う。</p> <p>○ 自分の考えを話したり, 友だちの考えを聞いたりして, 二人の様子を読み確かめること。</p> <p>《期待される児童の姿》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 叙述をしっかり読みながら, がまくんとかえるくんのどちらの叙述かを自分で考えて, 色分けをして線を引いている。 ・ 行番号を示しながら, 自分の考えを友だちに伝えようとしている。 	<p>※ 読むことが苦手な子には, 一緒に読んだりヒントを与えたりして個別に支援する。(a-4)</p> <p>※ 時間を見て, 隣同士で話し合わせる。(b-1)</p> <p>※ がまくんの言ったこと, かえるくんの言ったことを, 視覚的にとらえやすいよう, 上下に分けて板書する。(b-2)</p> <p>◆ がまくんとかえるくんのどちらの叙述か区別することができるか。</p> <p>◆ 自分の考えを友だちに伝えたり, 友だちの考えを聞いたりすることができるか。</p>
15分	<p>4 お手紙のことを聞いたがまくんの気持ちを想像し話し合う。</p> <p>(1) 「きみが。」をどのように読めばよいかを考え, 読む。</p> <p>○ これまでのがまくんの気持ちを振り返りながら, がまくんになりきって読むこと。</p> <p>(2) 「ああ。」のくらべ読みをし, お手紙の中身を読み, 話し合う。</p> <p>○ がまくんの気持ちの変化を読むこと。</p> <p>(3) 「とてもいいお手紙だ。」の「いい」に込められた気持ちを吹き出しに書き, 話し合う。</p> <p>○ 「いい」の中身を想像し吹き出しに書くこと。</p> <p>《期待される児童の姿》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お手紙のどんなところがいいのかを自分なりに考え, 吹き出しに書いている。 ・ 学習プリントに書いたことを, 友だちに伝えようとしている。 ・ 友だちの考えの大事なことを落とさずに聞くことができる。 	<p>※ 友だちの「きみが。」の読み方を聞き比べながら, がまくんのとても驚いている気持ちをとらえさせる。(a-1)</p> <p>※ ①の場面で「ああ。いちどもさ。」と言ったときのがまくんの「ああ。」と同じ気持ちかどうかを考えさせる。(a-1)</p> <p>※ 机間巡視しながら, ○をつけたり, コメントをしたりして賞賛する。(b-1)</p> <p>※ 隣同士で話し合わせた後, 全体で発表させる。(b-1)</p> <p>◆ がまくんになりきって表現したり, 友だちとの違いに気付いたりしているか。</p> <p>◆ お手紙をもらえなかったとき, あきらめきっていたときなどのがまくんの気持ちをもとにしながら, 自分の考えを伝えたり, 大事なことを落とさずに友だちの発表を聞いたりすることができるか。</p>
<p>《着目させたい文》</p> <p>「きみ(が)。」 (手紙が来るなんて思っていなかったからとてもびっくりしたように読む。)</p> <p>↓</p> <p>「ぼくは, こう書いたんだ。」</p> <p>『親愛なるがまがえるくん。ぼくはきみがぼく(が)親友であることを, うれしく思っています。きみの親友, かえる』</p> <p>↓</p> <p>「ああ。」 (しみじみとうれしい気持ちが表れるように読む。)</p> <p>↓</p> <p>「とてもいいお手紙だ。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ だれも友だちがいなかったのにかえるくんが親友って言ってくれたのがいい。 ・ かえるくんが, ぼくのことを親友だとおもってくれているのがうれしい。 ・ かえるくんが, ぼくと親友であることをうれしく思ってくれているのがすごくうれしい。 		
9分	<p>5 学習のめあてに立ち返り, 本時のまとめをする。</p> <p>○ 「今日のがまくん, かえるくんはね。」を書くこと。</p>	<p>※ 読み確かめたことをもとにしながら書かせる。(a-4)</p>